

横浜市教育委員会 定例会会議録

- 1 日 時 平成30年6月11日（月）午前10時00分
- 2 場 所 教育委員会会議室
- 3 出席者 鯉淵教育長 大場委員 間野委員 長島委員 宮内委員 中村委員
- 4 欠席者 なし
- 5 議事日程 別紙のとおり
- 6 議事次第 別紙のとおり

教育委員会定例会議事日程

平成30年6月11日（月）午前10時00分

- 1 会議録の承認
- 2 一般報告・その他報告事項
「JOCオリンピック教室」（浦島丘中学校開催）について
- 3 請願等審査
受理番号3 2018年度の中学校「道徳」教科書採択に関する要望書
- 4 審議案件
教委第14号議案 横浜市学校規模適正化等検討委員会臨時委員の任命について
- 5 その他

[開会時刻：午前10時00分]

鯉淵教育長

それでは、ただいまから、教育委員会定例会を開会いたします。

初めに、会議録の承認を行います。5月11日の会議録の署名者は長島委員と中村委員です。会議録につきましては、既にお手元に送付してございますが、字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

鯉淵教育長

それでは、承認いたします。字句の訂正がございましたら、後ほど事務局までお伝えください。

なお、5月28日の教育委員会臨時会の会議録につきましては、準備中のため、次回以降に承認することといたします。

次に、議事日程に従い、教育次長から一般報告を行います。

小林教育次長

【一般報告】

1 市会関係

○5/30 こども青少年・教育委員会

教育次長の小林です。それでは、報告いたします。

まず、市会関係ですが、5月30日に、こども青少年・教育委員会が開催され、教育委員会関係の審議が行われました。議案として、「横浜市立学校条例の一部改正」についての審議が行われたほか、請願審査が1件行われました。また、報告事項として、「横浜市中期4か年計画 2018～2021素案について」など、3件の報告をさせていただきました。

2 市教委関係

(1) 主な会議等

○5/31、6/1 平成30年度第1回指定都市教育委員会協議会

○6/2 平成30年度横浜開港記念式典

(2) 報告事項

○「JOCオリンピック教室」（浦島丘中学校開催）について

次に、教育委員会関係の主な会議等ですが、5月31日から6月1日の2日間にわたって、「平成30年度第1回指定都市教育委員会協議会」が福岡県福岡市で開催され、国に対する要望事項等について協議いたしました。協議会には、大場委員が出席されました。

また、6月2日に、「平成30年度横浜開港記念式典」が横浜みなとみらいホールで行われ、宮内委員、中村委員が出席されています。

次に、報告事項として、この後、所管課から「JOCオリンピック教室」（浦島丘中学校開催）について、報告させていただきます。

なお、いじめ重大事態再発防止策の1つとして昨年度から実施しております福島県への教員派遣研修を6月8日に実施いたしました。こちらの報告は参加した教員の感想等もまとめまして、次回の教育委員会会議で報告いたします。

私からの報告は以上でございます。

鯉淵教育長

報告が終了いたしました。御質問等ございますか。

特になければ、「JOCオリンピック教室」（浦島丘中学校開催）につきまして、所管課から報告いたします。

水木東部学校
教育事務所長

東部学校教育事務所の水木でございます。

5月23日、5月24日の2日間にわたって浦島丘中学校で開催された「JOCオリンピック教室」の詳しい状況が、近日中にJOC（日本オリンピック委員会）のホームページに掲載される予定だということでございますので、今日はその報告をさせていただきます。

オリンピック教室については平成23年から始められているということです。オリンピックの価値、あるいはオリンピック精神をより身近に感じてもらうために、その体現者であるオリンピック、オリンピック出場選手に、中学校2年生を対象にして体育理論の学習に向けた、事前啓発を目的とした授業形式で行われているということでございます。横浜市では市民局のオリンピック・パラリンピック推進課がJOCと調整して、2校、この枠をいただいているということです。浦島丘中学校はこの2校のうちの1校ということで、5月に開催されました。浦島丘中学校の2年生は5クラスでしたので、その5クラスが体育館での授業と、教室での座学の授業の2時間、延べ10時間、この教室が行われたということです。

講師に招いたのは、3人のオリンピックで、1人は高橋成美選手、フィギュアスケートの選手ということです。2人目が村上睦子選手、バスケットボールの選手です。それから、夏見円選手、スキークロスカントリーの選手ということです。高橋選手が2クラス、村上選手が2クラス、夏見選手が1クラスを担当されました。

私もバスケットボールの村上選手のオリンピック教室を見学してきましたので、少し詳しくお話をさせていただきます。まず最初にオリンピックの価値であるエクセレンス、フレンドシップ、リスペクト、この3つを子供たちにわかりやすい言葉に置き換えて、資料にありますように、「ルールを守り、どんなことにも全力で!」、これがエクセレンスに対応するということでした。「友達と声をかけ合い協力しよう!（思いやり）」、これがフレンドシップです。「みんなでアイデアを出し合い、チームで工夫しよう! チャレンジしよう!」、これがリスペクトというように、それぞれが対応するようわかりやすい言葉で子供たちに説明して、その後グループを作って活動が進んでいきました。

子供たちは、オリンピック選手とはいえ全くの初対面だったので、非常に緊張していて、硬い様子でした。この後元気に体を動かすことができるのかという、少し心配になるような状態だったのですが、非常に授業の中身は意図的・計画的に練られていて、だんだん子供たちの表情や取組の様子が変わっていくことが、本当に手に取るようにわかりました。だんだんと子供たちの活動が進むに当たって、同じチームの仲間とどうすればもっとうまくできるのかということについて話し合ったり、チームの仲間の頑張りをたたえたりということで、新学習指導要領でも示されている、主体的・対話的な深い学びにつながるような時間、活動になっていたというのが見て感じた感想でございます。

2時間目の教室での座学についても再度エクセレンス、フレンドシップ、リスペクトというオリンピックの価値についての話をされました。最初にオリンピックで非常に厳しい中、勝利をもぎ取った自分自身の映像を見せて、その後自分の体験を絡めてお話をされていました。そういった話の後、今度は子供たちがグループごとにもう一度オリンピックバリューについて話し合っ、結果として資料

の一番下を書いてありますように、「仲間と協力することでバスケットボールの楽しさを知ることができた」、「声を出すことでさらにチームの仲間とのきずなが深まって、とてもよい経験になりました」、「バスケットボール初心者の人も、1回目の経験を生かして、2回目には成功できて、みんなで達成感を味わうことができた」と、このような感想が寄せられて、オリンピックの価値やオリンピックの精神が日常の生活にもつながるものなのだとということを感じることができたということで、ねらいどおりの授業になっていました。

学校の教員はいろいろな準備を手伝っていただいたわけですが、授業自体はオリンピックにやっていたいただきました。教員はこの授業を見ていたのですけれども、最初はいろいろな準備などで負担を感じていたそうなのですが、教員の感想も、本当にこのオリンピック教室を開催してよかったと。参考となる授業だったとおっしゃっていました。

講師のお三方御自身の競技は、バスケットボールだけが体育館でできる競技で、あとのお二人は体育館ではなかなか再現できないというか、体育館での活動に取り入れることが難しいのではないかと私も思ったのですが、スキーのクロスカントリーの夏見先生の授業は東部の指導主事室の工藤主席がその様子を見学してきていますので、それについて簡単に補足いたします。

工藤首席指導
主事

東部学校教育事務所首席指導主事の工藤と申します。よろしくお願ひします。

今所長からありましたように、午前中は村上選手が4時間、2クラスの2コマということで、午後夏見選手の講義と授業があり、そちらに私のほうで参加させていただきました。バスケットボールは授業でもあるので、非常に子供たちが親しみやすい、やりやすい授業だったのではないかと思います。逆にクロスカントリーはなかなかなじみが薄いというか、子供たちにとっては「どんな競技だっけ」というような形から入りました。向こうのスタッフの方にも聞いたのですが、夏見選手は一番この授業に関しても経験が浅いということで、少し不安もありますという話もあったのですが、上手に子供たちと非常にフレンドリーに視線を低くしながら授業をしていたのが印象的でした。

クロスカントリーをどういう形で入れるのかと思っていたのですが、足にビニール袋を巻いて、その下にぞうきんを置いて、滑りやすいような状態にして、クロスカントリーの動きを取り入れたリレーなどをやりながら、先ほど所長からもあったように、協力し合うとか、仲間と話し合う、声を出し合う、フェアプレーをするという授業自体の基本スタイルは変えずに、そういう授業を行っていました。教室での座学についても同じような形で、この方はここでもわかるように3大会のオリンピックに出場されているということで、その辺の挫折、苦労なども交えながら、子供たちも真剣に聞いていた姿が印象的でした。

以上です。

水木東部学校
教育事務所長

冒頭お話ししたとおり、詳しい様子については6ページ前後の実施報告書としてJOCオリンピック教室のホームページに掲載されるということです。以上です。

鯉淵教育長

説明が終了しましたが、何か御質問等はございますか。

特になければ、次に議事日程に従い、請願等審査に移ります。5月15日付で受け付け、各委員に配付しております受理番号3の要望書について、審査を行います。事務局から説明いたします。

直井指導部長	<p>おはようございます。指導部長の直井でございます。 受理番号3の要望書について、考え方を所管課長よりお話しさせていただきます。</p>
宮城指導企画課長	<p>指導企画課長の宮城です。よろしくお願いたします。 要望項目1、3の後段、5につきまして、市立学校で使用する教科書は、横浜が目指す子供の姿を実現するために、文部科学大臣の検定を経た教科書の中から、関係法令や横浜市教科書採択の基本方針等に基づいて採択しています。また、各教科の専門的知識を有し、教育現場を熟知している現職の教員である教科書調査員による調査研究の結果と子供の学習実態を踏まえた横浜市教科書取扱審議会の答申を尊重しつつ、横浜市教育委員会の権限と責任において適正・公正に採択を行ってまいります。 要望項目4の後段につきましては、教科書の採択理由の説明については、これまでの教科書採択においても議論の中で各委員が教科書を採択する上で大事にしている観点や考え方を発言しておりますが、引き続き市民の皆様にはわかりやすい議論となるよう、工夫してまいります。 なお、それ以外の要望項目につきましては、教育長委任または専決で回答させていただきます。 以上でございます。</p>
鯉渕教育長	<p>事務局からの説明が終了しましたが、御質問等はございますか。 特に御意見等がなければ、受理番号3の要望書については事務局の考え方に沿った回答でよろしいでしょうか。</p>
各委員	<了 承>
鯉渕教育長	<p>それでは承認させていただきます。回答文につきましては、承認いただいた考え方に沿って、回答させていただきます。 以上で請願等審査を終了いたします。 次に議事日程に従い、審議案件に移ります。まず、会議の非公開について、お諮りします。教委第14号議案「横浜市学校規模適正化等検討委員会臨時委員の任命について」、この件は人事案件のため、非公開としてよろしいでしょうか。</p>
各委員	<了 承>
鯉渕教育長	<p>それでは、教委第14号議案は、非公開といたします。 審議に入る前に、事務局から、報告をお願いします。</p>
山岸総務課長	<p>事務局から、御報告申し上げます。 次回の教育委員会臨時会は、6月29日金曜日の午前10時から開催する予定です。 また、次回の教育委員会定例会は、7月6日金曜日の午前10時から開催する予定です。 以上です。</p>
鯉渕教育長	<p>皆様、よろしいでしょうか。次回の教育委員会臨時会は6月29日金曜日の午前</p>

10時から開催する予定です。

また、次回の教育委員会定例会は7月6日金曜日の午前10時から開催する予定です。別途、通知いたしますので御確認ください。

次に、非公開案件の審議に移ります。傍聴・報道機関の方は御退席願います。また、関係部長以外の方も退席してください。

<傍聴人及び関係者以外退出>

<非公開案件審議>

教委第14号議案「横浜市学校規模適正化等検討委員会臨時委員の任命について」

(原案のとおり承認)

鯉渕教育長

本日の案件は以上です。これで、本日の教育委員会臨時会を閉会といたします。

[閉会時刻：午前10時50分]